

「インド政府が主導する E コマース市場の変革 “ONDC” とは？」

田中 啓介

<ONDC とは？>

インド政府は 2021 年 12 月から ONDC プロジェクトをスタートさせました。ONDC（Open Network for Digital Commerce）とは「インド政府が主導するデジタルインフラで、オープンソースを前提としたインド国内統合型 E コマースネットワーク」のことを指しています。その主な目的は、プロトコルを公開し、デジタル・コマースを民主化して統合することで、消費者が単一の買い手アプリケーションを通じて複数の売り手から幅広い製品やサービスにアクセスできるようにすることです。その成長速度は驚異的で、2023 年 5 月時点でインド国内の 236 都市にも拡大しました。また、2023 年 7 月からは BtoB での ONDC プラットフォームも立ち上げており、今後 2 年間でインド国内における E コマースの普及率を現在の 8% から 25% にまで引き上げることを目標としています。

<これまでのプラットフォームとの違い>

ONDC において最も重要なことは、これまで目の見なかった小売店やスタートアップ企業が平等に評価され、本当に良い商品・サービスが売れる世界になることだと考えます。ONDC の特徴は以下の三つです。

（１）開放性と透明性

一つ目は、マーケットプレイスでの開放性と透明性という点で、以前のように特定のプラットフォームによる閉鎖的な市場ではなくなることが挙げられます。ONDC では比較的簡単に多くの消費者がアクセスしているマーケットプレイスに売り手として登録することができます。ONDC はインド政府が主導するネットワークであるため、多少の条件は満たす必要がありますが、寡占状態にある大手プラットフォームに比べると、より透明性が高いと思われます。

（２）競争を促進する

二つ目の特徴として以前までのマーケットプレイスに比べて、より公平な競争環境が提供されることが考えられます。これまでの E コマース市場では、大手プラットフォームが自社製品を優先して消費者の目

に留まるようにすることが可能でした。ONDC では政府主導のネットワークであるため、平等な競争環境を促進し、多様な販売者が等しい立場で競い合えるメカニズムを構築することができます。

（３）データアクセス

三つ目は、データの使用方法に関して、政府の規制対象になるため、参加企業が ONDC のデータにアクセスして使用できる内容が制限される場合があります。オープン・プロトコル（※１）によって買い手と売り手が使う複数のアプリケーションで情報が共有されていくことになります。

（※１）オープン・プロトコル：コンピューターやインターネットで情報を共有するためのシステム

<インド国内 E コマースの可能性と期待>

ONDC はインド政府の主導で立ち上げられた革新的な取り組みであると言えます。その影響は E コマース市場だけではなく、他の産業にもプラットフォームの統合という形でイノベーションをもたらす可能性もあります。また、「サブカルチャー文化に見られるアニメやゲーム」、「歴史的に受け継がれてきた伝統工芸品」など、魅力的で質の高いコンテンツを多く持つ日本企業は、ONDC を活用することによって、インドの E コマース市場で存在感を高められる可能性が広がるものと期待しています。



（出所：<https://www.youtube.com/watch?v=ZRwQDJPVwqI>）